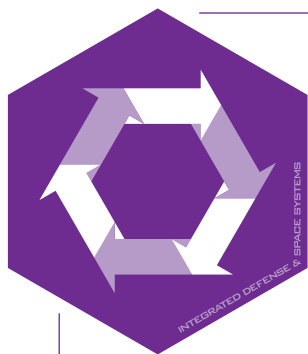
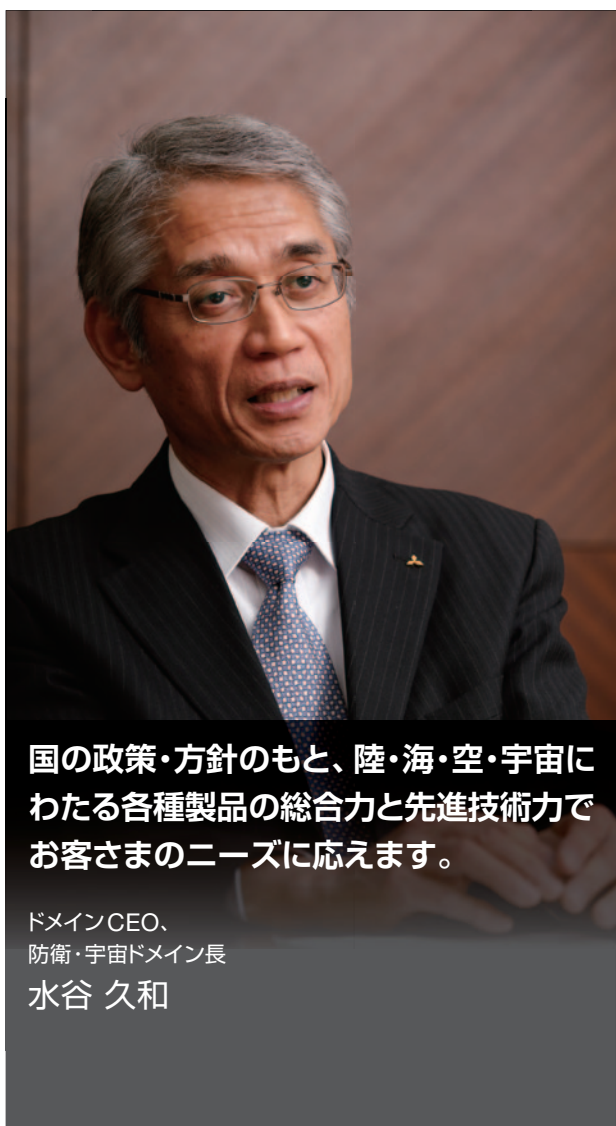




陸・海・空・宇宙の統合防衛システムと宇宙関連サービスを提供

防衛・宇宙

陸・海・空・宇宙の統合防衛システムと宇宙関連サービスにおいて、艦艇、防衛航空機、飛昇体、ロケット、特殊車両など、各事業分野で培ってきた最先端の技術力を活かした高付加価値の製品・サービスを提供します。



国の政策・方針のもと、陸・海・空・宇宙にわたる各種製品の総合力と先進技術力でお客さまのニーズに応えます。

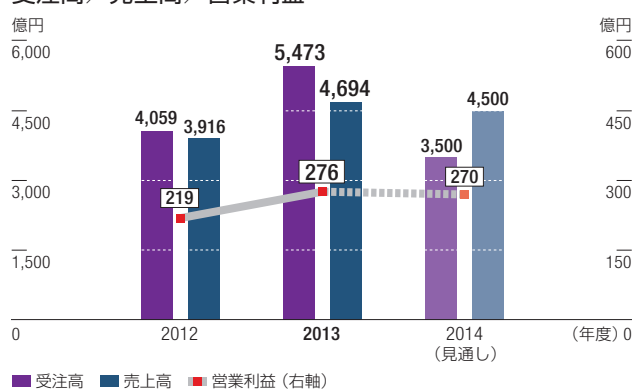
ドメインCEO、
防衛・宇宙ドメイン長
水谷 久和

2013年度の概況

艦艇、航空機の受注が増加したほか、一部の受注前倒しの影響により、前年度を上回る5,473億円の連結受注高となりました。

連結売上高は、防衛航空機、飛昇体などが増加し、前年度を上回る4,694億円となりました。これら売上高の増加にともない、連結営業利益も前年度を上回り、276億円となりました。

受注高／売上高／営業利益



SBU (事業ユニット)

- 艦艇
- 防衛航空機
- 飛昇体
- 官需エンジン・機器
- 特殊機械
- 宇宙
- 特殊車両





事業環境

東アジアの安全保障環境は緊迫した状況が続いています。こうしたなか、政府の防衛関連予算は伸び悩んでおり、今後大幅な拡大は期待が難しい環境にあります。

2013年末に発表された国家安全保障戦略では、国際協調主義に基づく積極的平和主義の立場から、我が国は国際社会の平和と安定および繁栄の確保にこれまで以上に積極的に寄与していくとの理念が掲げられました。

これに基づき、同時に発表された防衛計画の大綱では、グローバルな安全保障上の課題に取り組むため、多様な活動を統合運用によりシームレス、機動的に行うべく、「統合機動防衛力」を構築していくとの方針が示されています。当社としては2014年4月に閣議決定された「防衛装備移転三原則」に対応し、グローバル化への取り組みや、防衛生産・技術基盤の強化により国の安全保障上のニーズに的確に对应していく必要があります。

宇宙事業に関しては「宇宙基本計画」による開発重視から利用重視への転換、国際的な衛星打上げ競争の激化等の環境変化があります。

中長期の成長に向けた取り組み

防衛・宇宙事業ならではの最先端技術の活用、民生部門への防衛・宇宙技術の波及も行い、国民の安全・安心の確保と経済・社会の長期的発展に貢献することが当ドメインの基本方針です。また、事業運営の大前提として安全の確保、コンプライアンス遵守と情報セキュリティ確保に注力しています。

防衛事業においては、製品別に分かれていた事業本部がドメインに一元化されたことで陸・海・空の連携を進めて、技術の横通しによりシナジー効果を生み出し、お客さまの統合運用ニーズを踏まえた製品・サービスを提供していきます。特に小型高性能護衛艦や水陸両用車の開発、将来地对空誘導弾の技術的検討、将来戦闘機関連技術研究など、お客さまと一体となり、我が国の安全保障上のニーズに対応した取り組みを進めていきます。

宇宙事業ではH-IIA/Bロケットの高い打上げ成功率を維持しながら、新型基幹ロケットの開発に取り組む、将来に向けた事業伸長を図ってまいります。（詳しくは次頁のFOCUSをご覧ください）

当社は、「最先端技術を活用して、国の安全・安心の確保に貢献」という基本姿勢のもと、日本の防衛産業のトップメーカーとして防衛生産・技術基盤の維持・強化を図り、国のニーズに応え、数多くの防衛装備品の開発・生産・運用支援や、将来の安全保障環境を見据えた各種研究開発に取り組んでいます。

防衛生産・技術基盤の維持・強化に関する内容はウェブサイトをご覧ください。

<http://www.mhi.co.jp/csr/index.html>



FOCUS

防衛・宇宙

宇宙開発の未来を担う、衛星打上げ輸送

三菱重工の衛星打上げ輸送サービスは、H-IIA/Bロケットの高い打上げ成功率と困難をとまなうオンタイムでの打上げの継続により、国の内外から高い評価を得ています。2014年度からは主契約者として新型基幹ロケットの開発にも着手し、当社の技術は宇宙開発の次なる時代を切り拓いていきます。

Backdrop

- 開発から利用重視に舵をきった宇宙基本計画
- 新興国を中心とした衛星打上げ需要の増加

2013年1月の「宇宙基本計画」の政府決定により、日本の宇宙政策は開発重視から利用重視へと方針転換が行われようとしています。例えば、データ通信や衛星放送、地図作成や資源探査、GPS（全地球測位システム）を利用したナビゲーションなど、国民生活の質の向上に直接的につながる取り組みが強力に推進されることとなりました。そのためには、通信・放送衛星、測位衛星、リモートセンシング衛星などの人工衛星の製造・運用能力はもちろん、その人工衛星の打上げ能力の増強と、それを支える国内産業・技術基盤の維持が欠かせません。

一方で海外に目を向けると、東南アジアを筆頭に新興国で通信衛星などの打上げ需要が増加しており、商業衛星打上げ輸送サービスの事業機会が広がりつつあります。

Key Capital

- 打上げ能力を向上させたH-IIAロケット
- 高い成功率とオンタイム打上げの積み重ね

日本の宇宙政策において、当社は約40年にわたって衛星打上げ用ロケットの開発・製造で重要な役割を果たしてきました。その中でも現在の基幹ロケットであるH-IIAロケットは、JAXA^{*1}から技術移転を受け、2007年9月打上げの13号機以降、当社が製造から打上げまでを一貫して担っています。近年は、JAXAのもとでH-IIAロケット第2段機体の改良を進め、従来より静止軌道に近い静止遷移軌道への衛星投入が可能となり、世界中のニーズに応えられる体制となります。

また、現在^{*2}のH-IIAロケットの打上げ成功率は、約96%（24機中23機）という高さを誇ります。加えて、定刻通りの打上げも継続中です。

※1 JAXA:宇宙航空研究開発機構。日本の宇宙科学研究、航空技術研究、宇宙開発研究を担う独立行政法人。

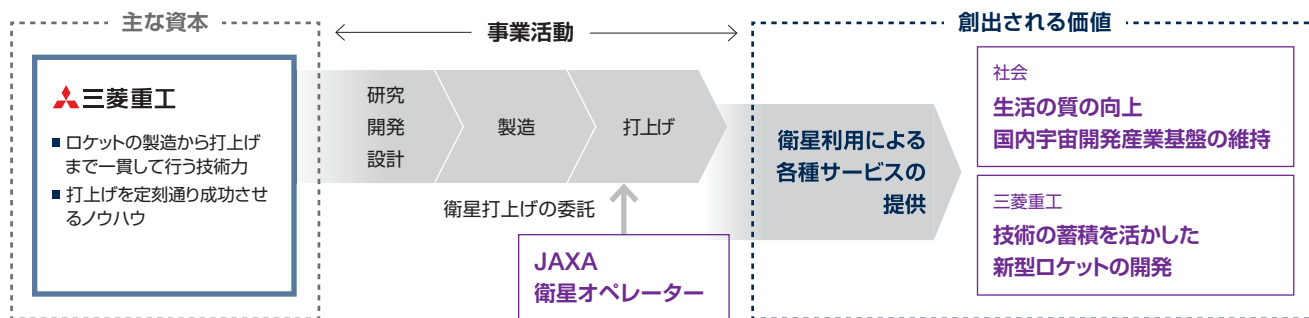
※2 2014年7月現在。

2014年5月24日に打上げられた
H-IIAロケット24号機



主要プロジェクト

発表時期	納入時期	プロジェクト
2014年5月	—	H-IIAロケット24号機の打上げ成功
2014年5月	2016年度	スカパーJSAT(株)から衛星打上げ輸送サービスを受注
2014年3月	—	JAXAより、新型基幹ロケットの開発と打上げ輸送サービスを担う主契約者に選定される
2013年9月	2015年後半	テレサット社の通信放送衛星打上げ輸送サービスを受注(初の商業衛星の打上げ受注)
2013年6月	—	アリアンスペース社と宇宙ロケットの商業打上げに関する協力覚書(MOU)を締結



Strategy

- H-IIA/Bロケットの連続成功と継続的な製造効率化
- 国際競争力のある新型基幹ロケットの開発

国の自律的打上げ能力の確保・産業基盤の維持と、宇宙開発利用への貢献で、より高いプレゼンスを発揮

こうしたH-IIAの打上げ能力と、計画通り確実に打上げる信頼性を、世界第4位の大手衛星オペレーターであるテレサット社は高く評価。2015年後半に予定されている通信放送衛星TELSTAR 12Vの打上げ輸送を当社が受注することに決まりました。これは当社にとって初の商業衛星の打上げ輸送サービスの受注となります。さらに2014年5月には国内衛星オペレーターからの初受注となる、同5位のスカパーJSAT(株)との契約を締結しました。これら大手顧客からの受注実績を追い風に、国内外の衛星打上げ輸送サービス市場で積極的な事業活動を展開していきます。

現状では当社のロケットの打上げは年間で2～3機ですが、世界では、新興国の打上げの活発化にともない、年間に20～30機が打上げられています。この事業機会を獲得していくためには、引き続き、H-IIAロケット、そして2013年にラインアップに加わったH-IIBロケットの確実で正確な打上げを積み重ねていくことが何よりも重要になります。併せて、製造の効率化を進め、コスト競争力を高めていきます。

さらに、2014年3月、当社はJAXAから新型基幹ロケットの開発と打上げ輸送サービスを担う主契約者に選定されました。2014年度に開発に着手し、2020年の試験機打上げを目指します。新型ロケットの開発段階から民間企業が中心的な役割を担うのは初で、当社はJAXAや他の民間企業と協力しつつ、完成後の打上げサービスまでを一貫して担当することになります。新型基幹ロケットは現在のH-IIA/Bロケットを刷新したもので、幾多の最新技術を導入することで低価格と高い信頼性を両立させ、国際競争力を高めていきます。

当社は、既存ラインアップのロケットの着実な打上げ実績の積み重ねと同時に、新型ロケット開発を推進することにより、宇宙開発の技術基盤を確固たるものにしていきます。それはつまり、我が国の自律的打上げ能力の確保と、産業基盤の維持に直結するものと言えます。今後はさらに世界の多様なニーズに応えられるよう、世界の宇宙開発利用におけるプレゼンスをより高め、いっそう大きな貢献を果たしていきます。

VOICE

テレサット社長兼CEO

Daniel S.
Goldberg 氏



三菱重工の衛星打上げサービスが、さまざまな点において他社よりも優れていると判断しました。

今回TELSTAR 12Vの打上げを三菱重工に発注するのは、他の打上げ事業者との広範囲な比較検討の結果です。具体的には、三菱重工が提供するサービスが、技術・運用面での経験、打上げスケジュールの柔軟性、ロケットの性能、取引条件等のテレサット社の選定基準において、

他の打上げ事業者より優れていたからです。テレサット社は、今回の三菱重工との協力が我々にとって新たな一歩を刻むものであると確信しています。テレサット社と三菱重工の協力により、我々の最新の衛星が計画通り打上がることを楽しみにしています。